

市民協働に関する市民活動団体アンケート調査

【調査ご協力をお願い】

皆様には、日頃より市政にご理解とご協力をたまわり、誠にありがとうございます。

本市では、「四日市市市民協働促進条例」にもとづき、市民協働を進めるため、四日市市市民協働促進計画を平成28年に策定し、市民協働の取組を進めてまいりました。

この度、令和8年度からスタートする第3次四日市市市民協働促進計画の策定に向け、市民活動団体の皆様に活動状況や市民協働についてのお考え、各団体の今後の展望などをお聞きしたいと考えております。

つきましては、計画の策定に向けた基礎資料とするため、市民活動センター（なやプラザ）に登録のある市民活動団体及び本市に市民活動団体として届出をされている団体等を対象にアンケート調査を実施いたします。

ご回答いただいた調査内容は、本市市民協働施策の推進のため利用させていただくもので、個々の団体の回答内容は公表いたしませんので、率直なご意見をお寄せください。

お忙しい中、誠に恐縮ですが、今後の四日市市における市民協働をさらに推進すべく、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

※市民協働：市民主権の理念のもと、市民等、市民活動団体、議会、事業者及び市等が連携し、それぞれの持つ特性を生かしてまちづくりに取り組むこと

令和6年9月

四日市市長 森 智 広

〈回答期限〉 令和6年9月30日（月）

〈回答方法〉 ①または②のどちらかの方法でご回答ください。

① Webページから入力

- ・右のQRコードからWebページにアクセスし、ご回答ください。
- ・Webでご回答いただいた方は、本調査票の郵送は不要です。



② 調査票に記入

- ・調査票に黒のボールペンまたは鉛筆で回答を直接記入し、同封の返信用封筒（切手不要）に入れてご投函ください。
- ・各設問では、該当する選択肢の数字に○印を付けてください。また、欄のある設問については、欄内に文字や数字をご記入ください。

このアンケートに関するお問い合わせは、下記までお願いします。

四日市市 市民生活部 市民協働安全課 電話 059-354-8179

貴団体の組織・体制についておたずねします。

問1 名称をご記入ください。

問2 代表者名および連絡先等をご記入ください。

代表者名：	
住所：	
TEL：	FAX：
メールアドレス：	

問3 設立はいつですか。

昭和・平成・令和 年 月

問4 会員についてご記入ください。

(1) 会員数 人

(2) 会員の概ねの平均年齢（チェック☑を入れてください）

20代以下 30代 40代 50代 60代 70代以上

貴団体の活動状況についておたずねします。

問5 主な活動分野は、次のどれに当たりますか。（○は3つまで）

- | | |
|------------------|-------------------------------------|
| 1. 保健・医療・福祉 | 11. 国際協力 |
| 2. 社会教育 | 12. 男女共同参画 |
| 3. まちづくり | 13. 子どもの健全育成 |
| 4. 観光 | 14. 情報化社会 |
| 5. 農山漁村 | 15. 科学技術 |
| 6. 学術・文化・芸術・スポーツ | 16. 経済 |
| 7. 環境の保全 | 17. 雇用・労働 |
| 8. 防災・災害救援 | 18. 消費者保護 |
| 9. 防犯・地域安全 | 19. 中間支援 |
| 10. 人権・平和 | 20. その他〔 <input type="checkbox"/> 〕 |

⇒差し支えなければ具体的な活動内容をご記入ください。

[]

問 6 どれくらいの頻度で活動していますか。(〇は1つ)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. ほぼ毎日 | 4. 半年に1~2回程度 |
| 2. 週に1~2回程度 | 5. 年に1~2回程度 |
| 3. 月に1~2回程度 | 6. その他〔 〕 |

問 7 主な活動範囲は、次のどれですか。(〇は1つ)

- | | |
|----------------|-----------|
| 1. 町内 | 5. 北勢地域 |
| 2. 小学校区程度 | 6. 三重県全域 |
| 3. 地区市民センターの区域 | 7. 全国 |
| 4. 市内全域 | 8. その他〔 〕 |

問 8 主な活動拠点は、どこですか。(〇は1つ)

- | |
|-------------------------|
| 1. 団体の専用施設 |
| 2. 他団体との共用施設 |
| 3. 市民活動センター(なやプラザ) |
| 4. その他の公共施設(地区市民センターなど) |
| 5. 個人宅 |
| 6. 活動拠点が無い |
| 7. その他〔 〕 |

問 9 主に何によって活動資金をまかなっていますか。(〇は3つまで)

- | |
|------------------------------------|
| 1. 会費、入会金 |
| 2. 会員の個人負担 |
| 3. 個人からの寄付、賛助金、協賛金 |
| 4. 企業などからの寄付、賛助金、協賛金 |
| 5. 事業による収入(バザー、参加費、出版物・チケット、介護事業等) |
| 6. 他団体や企業からの助成金 |
| 7. 行政からの補助金 |
| 8. 行政からの業務委託料や指定管理料 |
| 9. その他〔 〕 |

問 10 これからの活動をさらに充実させるため、必要と思うことは何ですか。(〇は3つまで)

- | |
|---------------------------------------|
| 1. 人材、会員を増やす |
| 2. 活動に必要な情報を得ていく |
| 3. 楽しんで活動している様子を広く発信していく |
| 4. 他団体との連携や交流をさらに図っていく |
| 5. 活動資金を増やす |
| 6. 安定した活動拠点を確保していく |
| 7. 会員相互のコミュニケーションをさらに深めていく |
| 8. 団体の活動に対するアドバイスをしてくれる専門家・団体等を確保していく |
| 9. 特になし |
| 10. その他〔 〕 |

問 15 市民活動に参画する人材の発掘に効果的だと思うのは何ですか。(〇は 2 つまで)

1. 人的なつながりによる声かけや紹介
2. イベント開催時の勧誘
3. ホームページやSNSなどを活用した募集
4. 企業による従業員の市民活動への参加配慮
5. その他〔 〕

問 16 必要としている人材を育成していくための方法として効果的と思われるものは何ですか。(〇は 2 つまで)

1. 必要な技能や知識を習得する研修会や講習会などへの参加
2. 団体間での交流や連携による学び合い
3. 団体内での専門知識や技能の継承
4. 能力を発揮できる機会の提供
5. 特にない
6. その他〔 〕

活動にあたっての「情報」についておたずねします。

問 17 活動に当たって参考となる情報は、主にどこから入手していますか。(〇は 1 つ)

1. 行政の広報やケーブルテレビ、市ホームページなど
2. 関連団体
3. 市民活動センター(なやプラザ)
4. 新聞・テレビ・ラジオ・雑誌等のメディア
5. ミニFM局・ケーブルテレビ・地域情報誌等のローカルメディア
6. インターネットでの検索
7. その他〔 〕

問 18 活動を進めるための情報の内容や量は十分だと思いますか。(〇は 1 つ)

1. 十分である
2. 概ね足りている
3. やや不足している
4. たいへん不足している

問 19 必要としている情報は、主にどのような情報ですか。(〇は 3 つまで)

1. 事業企画に関する専門知識やノウハウ
2. 情報発信や広報に関する専門知識やノウハウ
3. 活動に協力してくれる人材に関する情報(ボランティア、専門家等)
4. 助成金や補助金・融資等、活動資金に関する情報やそれらを獲得するためのノウハウ
5. 活動の場所や施設に関する情報
6. 他の団体の活動に関する情報(連携の可能性、成功事例等)
7. 国や県、市の制度に関する情報
8. 特に必要な情報はない
9. その他〔 〕

問 19-1 市民活動の活性化を図るため、他団体との共有化が今後さらに図られると良いと思う情報の内容は何ですか。4 ページ問 19 の項目から選択し、番号を記入してください。(記入は 3 つまで)

--	--	--

(その他の場合の記入欄) []

問 20 情報発信力をさらに高めていくために効果的と思われるものは何ですか。(〇は 2 つまで)

1. 他団体や市と連携を図り、効率的かつまとまった情報発信
2. イベントなど、市民活動を紹介する機会の創設や増大
3. 新聞・テレビ・ラジオ・雑誌等のメディアを通じた情報発信
4. ミニFM局・ケーブルテレビ・地域情報誌等のローカルメディアを通じた情報発信
5. ホームページやSNSなど新たな広報媒体の活用
6. その他 []

問 21 市民活動に関する情報を広く共有していくために効果的と思われる手段や方法は何か。(〇は 2 つまで)

1. 活動拠点での情報掲示
2. SNSの活用
3. 他団体との意見交換の場の提供
4. 中間支援団体などによる仲介
5. その他 []

問 22 市民協働安全課が作成している「市民協働虎の巻」、「助成制度のしおり」を知っていますか。(〇は 1 つ)

1. 両方とも知っている
2. 「市民協働虎の巻」は知っている(「助成制度のしおり」は知らない)
3. 「助成制度のしおり」は知っている(「市民協働虎の巻」は知らない)
4. 両方とも知らない
5. その他 []

貴団体の強化についておたずねします。

問 23 発足当時と比べて活動状況はどう変わってきましたか。(〇は 1 つ)

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. 活発化してきている | 3. 停滞してきている |
| 2. 現状維持である | 4. 活発化と停滞を繰り返している |

問 23-1 問 23 の要因として最もあてはまるものは何ですか。(〇は 3 つまで)

- | | |
|-------------|----------------|
| 1. 団体の組織力向上 | 6. ニーズ変化への対応 |
| 2. 団体の組織力低下 | 7. ニーズ変化への不対応 |
| 3. ニーズ増大 | 8. 活動どうしの競合が激化 |
| 4. ニーズ横ばい | 9. 活動どうしの競合が減少 |
| 5. ニーズ減少 | 10. その他 [] |

問 24 これから貴団体の活動が活性化するために特に何を強化する必要があると思いますか。(〇は3つまで)

- | | |
|--------------------|---------------|
| 1. 団体としての自立性の向上 | 6. 企画・立案能力の向上 |
| 2. 団体及びその活動内容の情報発信 | 7. 事務処理能力の向上 |
| 3. 協働を進めることへの意欲の向上 | 8. 資金面の確保 |
| 4. 人材の確保や育成 | 9. その他〔 |
| 5. 専門性の追求 | 〕 |

問 25 問 24 で回答した強化をするために、必要なものは何ですか。(〇は3つまで)

- | |
|---|
| 1. 組織運営のスキル |
| 2. 会員の増やし方のノウハウ |
| 3. 活動分野に関する専門性 |
| 4. ボランティアマネジメントのスキル |
| 5. 雇用・労務の知識 |
| 6. 会計・税務の知識 |
| 7. 寄付の集め方のノウハウ |
| 8. 広報紙、チラシの作り方のノウハウ |
| 9. 情報技術を使った情報発信（ブログ、X、フェイスブック等）のスキル |
| 10. 企画書の書き方、プレゼンテーションの仕方、報告書の作り方等のノウハウ |
| 11. 事業にかかわるリスク対応（保険、個人情報保護、クレーム対応、危機管理等）スキル |
| 12. NPO 法人格のとりかた、認定 NPO 法人についての知識 |
| 13. その他〔 |
| 〕 |

問 26 活動を進めていくうえで必要な資金を獲得するためのしくみとして有効と考えられるものは何ですか。(〇は2つまで)

- | |
|-------------------------|
| 1. 市民活動への寄付を促進するしくみ |
| 2. 民間助成金の情報が容易に入手できるしくみ |
| 3. 事業者の地域貢献活動とのマッチング |
| 4. 行政や地域などからの業務受託等 |
| 5. その他〔 |
| 〕 |

なやプラザ（市民活動センター・なや学習センター）についておたずねします。

問 27 あなたは、「なやプラザ（市民活動センター・なや学習センター）」を知っていますか。(〇は1つ)

- | |
|-----------------------------|
| 1. 現在も利用している |
| 2. 過去に利用したことがある |
| 3. 利用したことはないが、どのような施設か知っている |
| 4. 利用したことがないが、聞いたことがある |
| 5. 知らない |

問 32 今後、中間支援の役割として、どのようなことを担ってもらいたいですか。(〇は1つ)

- | | |
|---------------------|--------------|
| 1. 情報提供 | 5. 人材の発掘 |
| 2. 団体どうしの交流の場づくり | 6. 会員のスキルアップ |
| 3. 団体どうしのマッチング | 7. 活動機会の提供 |
| 4. 基金等の運営による活動資金の支援 | 8. その他〔 〕 |

問 33 本市は、平成 28 年度から企業の社会貢献活動の一つの形態として「プロボノ」活動支援を推進してきました。「プロボノ」という言葉について知っていることをご回答ください。(〇は1つ)

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 「プロボノ」という言葉を聞いたことがない |
| 2. 「プロボノ」という言葉を聞いたことはあるが、意味はわからない |
| 3. 「プロボノ」という言葉の意味を知っている |
| 4. その他〔 〕 |

問 34 「プロボノ」への関りについてご回答ください。(〇は1つ)

- | |
|--|
| 1. 「プロボノ」に参加したことがあり、今後、団体として「プロボノ」に支援を頼みたい |
| 2. 「プロボノ」に参加したことがあり、今後、個人として「プロボノ」に支援を頼みたい |
| 3. 「プロボノ」に参加したことはないが、団体として「プロボノ」に支援を頼みたい |
| 4. 「プロボノ」に参加したことはないが、個人として「プロボノ」に支援を頼みたい |
| 5. 個人として「プロボノ」に参加経験があるが、今後もスキルを生かして支援をしたい |
| 6. 個人として「プロボノ」に参加経験はないが、興味があるので詳しく知りたい |
| 7. その他〔 〕 |

【ことば】プロボノ

社会人が自らの専門知識や技能を生かして参加する社会貢献活動のことです。本市では平成 28 年度より、プロボノによる市民活動の活性化に取り組んでいます。

市民協働への理解についておたずねします。

問 35 市民協働促進条例では、市民協働とは、市民等、市民活動団体、議会、事業者及び市等が連携し、それぞれの持つ特性を活かしてまちづくりに取り組むこととしています。市民協働のまちづくりを進めるためには、まず多くの市民の理解と参加を得ることが必要となりますが、それらの意識づくりを進めるために効果的だと思うのは何ですか。(〇は2つまで)

- | |
|--|
| 1. 地域での講座や研修会の開催 |
| 2. 市民協働の方法や実例を紹介する解説書の作成、配布 |
| 3. イベントや講演会などの開催を通じた市民活動団体の活動情報の積極的な発信 |
| 4. 市民に身近なところで協働事業による成功事例を増やしていく |
| 5. その他〔 〕 |

問 36 他団体や行政との協働事業を実施した経験がありますか。(〇は1つ)
ある場合は、協働の相手についてもお書きください。

- 1. ない
- 2. ある → 協働の相手は：〔 〕

問 36-1 問 36 で「2」を選んだ方におうかがいします。
その協働事業は、どのような形態でしたか。(〇はいくつでも)

- 1. 共催事業の実施
- 2. 受託事業の実施
- 3. 補助事業の実施
- 4. 実行委員会・協議会などの立ち上げ
- 5. 指定管理者の指定
- 6. 事業に関する提案
- 7. 事業への協力(スタッフの派遣、会場提供、広報宣伝、他団体との連絡調整など)
- 8. その他〔 〕

問 36-2 問 36 で「2」を選んだ方におうかがいします。
その協働事業について、どのように評価されますか。(〇は1つ)
また、その理由をご記入ください。

- 1. 非常に有意義であった
- 2. 有意義だったが、課題もあった
- 3. 課題が多く、意義も少なかった
- 4. 実施するべきでなかった
- 5. その他〔 〕

【理由】

問 37 将来に向けて真に暮らしやすいまちとなることを目指し、市民、市民活動団体、企業、行政などが、それぞれの役割を持って市民協働を進めるために、特に重要なことはどんなことだと思いませんか。(〇は1つ)

- 1. 市民一人ひとりが意識を高めること
- 2. 社会全体で、協働の重要性についての共通理解を築くこと
- 3. 役割分担を最適化するコーディネート機能を持つこと
- 4. 活動資金が円滑にまわるしくみを構築すること
- 5. 担い手となる人材を育成すること
- 6. 活動機会が広く与えられること
- 7. その他〔 〕

新しい生活様式(after コロナ)の時代の市民協働についておたずねします。

問 38 新型コロナウイルス感染症が大きく人々の生活行動を変えていきましたが、現在(after コロナ)、貴団体の皆さんは、以下のそれぞれの場面で意識や行動の変化がありましたか。(〇はそれぞれ1つ)

(1) ふだんの暮らし

1. 大きく変わった	1.2.と回答された方	
2. 少し変わった	→ 具体的に〔	〕
3. ほとんど変わっていない	4. 全く変わっていない	5. わからない

(2) 市民活動・市民協働の取組

1. 大きく変わった	1.2.と回答された方	
2. 少し変わった	→ 具体的に〔	〕
3. ほとんど変わっていない	4. 全く変わっていない	5. わからない

問 39 新しい生活様式(after コロナ)の時代での市民活動・市民協働を推進するために、ICTの活用が求められています。貴団体では、リモートでの会議ができる環境は整っていますか。(〇はいくつでも)

1. 団体として、他団体や企業、行政などとのリモートでの会議が可能	
2. 団体のメンバー同士でのリモートでの会議が可能	
3. 団体の一部のメンバーが個人的にリモートでの会議ができる	
4. 団体、メンバー個人ともにリモートでの会議はできない	
5. その他〔	〕

問 40 アンケート調査結果をふまえ、ヒアリングさせていただく可能性があります。ヒアリングへのご協力の可否について教えてください。(〇は1つ)

1. 可	2. 否
------	------

市民活動、市民協働全般について、ご意見等があればお書きください。

アンケートは以上です。どうもありがとうございました。